

乾式ダイヤモンドコアドリル 取扱説明書

■ご使用前に、この「乾式ダイヤモンドコアドリル」(以下、コアドリルという。)の取扱説明書と包装材記載事項、及び電動工具の取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

- ⚠ 警告** ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みいただき、十分理解されたうえで正しく使用してください。
- ◆お読みになった後はお使いになる方が、いつでも見ることが出来る所に保管してください。
 - ◆ここに示した注意事項は **⚠ 警告** **⚠ 注意** に区分していますが、それぞれの意味は下記のとおりです。

- ⚠ 警告** 誤った取扱をした時に死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意
- ⚠ 注意** 誤った取扱をした時に使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも状況によっては、重大な事故に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する、重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

1 作業環境

- ⚠ 警告** ●作業員以外、作業場所には近づけないでください。
- 高所作業では、切削コア(抜きカス)の落下防止処置をして、切削片の飛散や落下に十分注意して使用ください。
 - コアドリルは使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発のおそれのある場所では使用しないでください。
埋設されているガス管、電線にはご注意ください。
 - 作業員は防じんメガネ、安全靴、保護帽、防じんマスク、耳せん等の保護具を必ず着用してください。高所作業では安全帯を着用してください。
- ⚠ 注意** ●きちんとした服装で作業してください。ネクタイ、ソデ口の開いたもの、手袋など巻き込まれるおそれのある物は身につけないでください。
- 長髪は帽子やヘアカバーで覆ってください。

2 使用前

- ⚠ 警告** ●記載している適応回転数、消費電力値の目安を参考に、スリックラッチ付、又はセーフティークラッチ付の回転機構の電気ドリルを使用してください。振動、打撃機構との併用は禁止します。サイドハンドルを付けて使用してください。
- コアドリルのシャンクが電動ドリルに適合していることを確認してください。**
 - 使用前、コアドリルのボディ部とチップ部で曲がり、ひび割れ、欠け、変形の有無、刃先チップ部のダイヤモンド層が残っていることを確かめてください。
これらの破損、摩耗を発見した場合は、使用にならないでください。
 - コアドリルの取付時には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - コアドリルを取り付ける電動ドリルの主軸は、がたや振れの無いものを使用し、確実に取り付けて使用してください。

3 使用中

- ⚠ 警告** ●しっかりと足場で、身体の安定を保って使用し、電気ドリルに振り回されないようしてください。
- コアドリルは落としたり、ぶつけたりしないでください。特にチップ部、カッター連結部は破損につながりやすいのでご注意ください。
 - 回転中の電気ドリルやコアドリルには、絶対に手や身体で触れないでください。
 - 穿孔作業時に、衝撃を与えないでください。
 - 加工する被削材をしっかりと固定してください。
 - 絶対にコアドリルを被削材に当てながら回転のスイッチを入れないでください。
 - 穿孔中に異常音、異常振動が生じた際は、直ちに作業を中止してください。
 - 穿孔貫通間際は押付力を弱めてください。
- ⚠ 注意** ●切れ味が悪くなった時は、目立て(ドレッシング)を行ってください。
「目立て(ドレッシング)のやり方」は、粗めの砥石または軟質被削材(コンクリートブロック、レンガ)を数回穴あけしてください。
- 無負荷回転を行い異常が無ければ、刃先をゆっくりと被削材に当て、刃先を完全に食いつかせてください。
穿孔中は無理な力で押しつせず 常時高速回転を保つよう使用ください。
 - 位置決め後は必ずセンターピンを外して使用ください。
 - 穿孔途中で絶対に電気ドリルの回転を止めないでください。回転を止める場合はコアドリルを被削材よりゆっくり引き抜いた後に止めてください。
 - 電気ドリルを逆回転させないでください。刃先チップ部に悪影響が出て本来の性能が発揮できなくなります。
 - 切り粉の排出が悪い場合は、回転させながらコアドリルを被削材からゆっくり引き抜き、切り粉を排出してください。
 - 連続して穿孔する場合は、1回毎にコアドリル内の切削コア(抜きカス)を取り除いてから使用ください。
 - 鉄筋部穿孔後、その破片が刃先に詰まり回転が止まる場合があります。このような場合は鉄筋の破片を取り出してから使用ください。
 - 切り粉等により、カッターとアダプターが外れにくい場合は、連結部の切り粉等を除去し注油してください。φ80以上はカッター部の穴に廻り止めの棒を挿入し、アダプターごと27mmスパナで外してください。

4 使用后

- ⚠ 警告** ●使用後は電動工具の電源スイッチを「OFF(切る)」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用直後のコアドリルおよび被削材は高温になっている場合がありますので、手などで触れないでください。

用途

- 一般～硬質コンクリート、鉄筋コンクリート（φ13まで）、ALC、等のエアコン、ガス、水道、電気の配管工事等に。

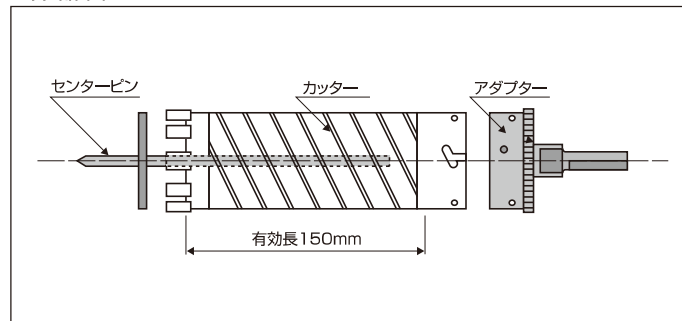
適応工具

- クラッチ付 回転専用電気ドリル
- ダイヤモンドドリル
- 振動ドリルの回転モード
振動+回転モードは使用不可
クラッチの付いていないドリルは使用不可

適応電気ドリルの回転数、消費電力の目安

刃先径	回転数 (min ⁻¹ =rpm)	消費電力 (w)
φ29～40	800～1,500	450w以上
φ52～80	700～1,100	550w以上
φ100～120	700～1,100	650w以上

部品図



適応工具例

メーカー	機種名	消費電力 (W)	回転数 (min ⁻¹ =rpm)	クラッチ付	適応サイズ			チャック部
					29～40	52～80	100～120	
HIKOKI	DC-120, ダイヤコアドリル	760	1100	●	●	●	●	SS
	DC-120VA, ダイヤコアドリル	1140	400～1000 800～2000	●	●	●	●	SS
マキタ	6300T, ダイヤコアドリル	570	1400	●	●	●	●	SS
	8406, ダイヤコアドリル (回転モード)	760	0～1500	●	●	●	●	SS
	HR2601F, ハンマードリル (回転モード)	800	0～1200	●	●	●		SDS
ポッシュ	GBH2-28, ハンマードリル (回転モード)	850	0～1300	●	●	●		SDS
	GBH4-32DFR, ハンマードリル (回転モード)	900	0～780	●	●	●	●	SDS

※チャック部の表記について SS:ストレートシャンク用 SDS:SDSシャンク用

有効長

- 150mm (全サイズ共通)

使用方法

1. 電気ドリルを回転モードに合わせてください。
2. コアドリル(アダプター)を電気ドリルに取り付けてください。
(カッターをアダプターへ確実に取り付けていることを確認してください。)
3. センターピン(ガイドプレート付)を取り付けてください。
4. ゆっくり押しつけて3mmほど穴あけした時点でセンターピンを取り外し、再度、穴あけをしてください。
5. 穴あけ終了後、回転させたままコアドリルをゆっくり抜き上げてください。
6. カッターを回転させ、カッター内の切削コア(抜きカス)を取り除いてください。
7. カッターとアダプター連結部の切り粉等を除去してください。

株式会社 ロブテックス

コールセンター TEL(072)980-1111 FAX(072)980-1166
〒579-8053 東大阪市四条町 12-8

ロブテックス ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

No.DM3718S00012